

権現谷

Gongen dani

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
Jan	Feb	Mar	Apr	May	Jun	Jul	Aug	Sep	Oct	Nov	Dec

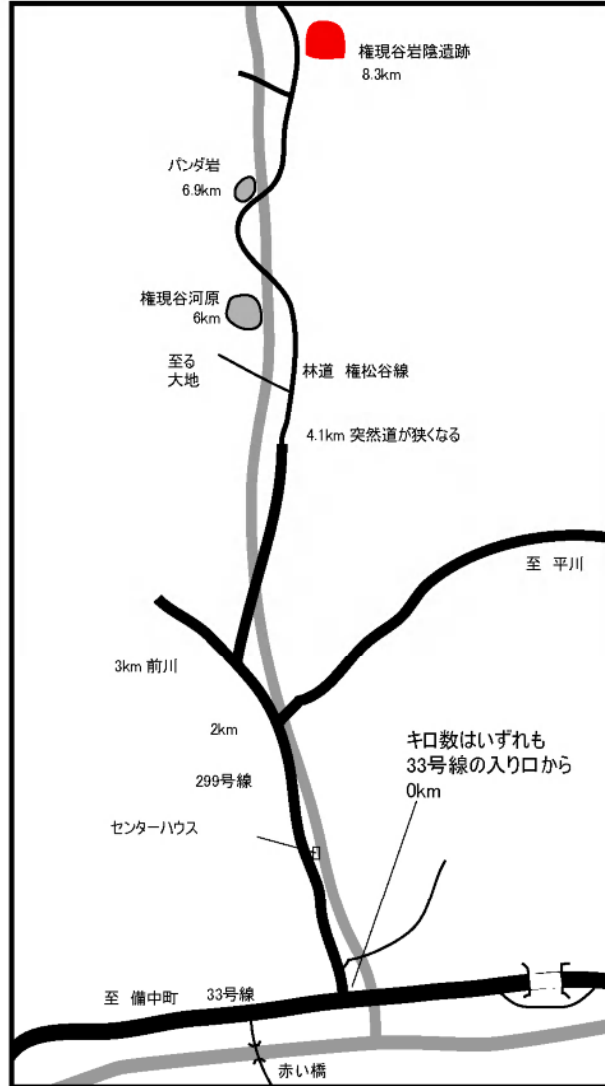
5.9	5.10	5.11	5.12	5.13
UNDER				UPPER
△	×	○	◎	×

プロフィール

道路わきにあるこの岩場は、真冬以外の季節、特に夏に登ることができるため、大変人気がある。グレード的には5.11の後半から5.12までが充実している。傾斜もきつい上に、ルートが長くストレッチュアスなものが多い。特に「もも」は岡山を代表する1本。終了点下の核心部まで、5.10くらいの多彩なムーブが続き、非常に楽しい。最近、ロングバージョンをはじめ、いくつかのバリエーションもできているが、これもいずれも面白い。

アプローチ

備中町から33号線を新見方面に5分ほど走ると、右に赤い橋が見える。(川エリアに行く橋) このさき300mくらいで、油木方面に行く道が、左から入ってくるので、この道に入る。ここから3キロほどで、前川という小さな部落に着き、右に入る道を進む。(看板あり) ここより1キロほどで道は、車1台がやっと通れる道となる。この細い道をどんどん入っていくと、33号線の分岐から8.3キロほどで、岩場の下に着く。なおグレードが( )になっているルートはグレード未確認のため、発表時のグレードをそのまま付けてある。1-3ランク程度、辛い可能性があるので注意。



ニューエリア

New area Rihgt

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
Jan	Feb	Mar	Apr	May	Jun	Jul	Aug	Sep	Oct	Nov	Dec

5.9	5.10	5.11	5.12	5.13
UNDER				UPPER
×	×	△	◎	△

プロフィール

アプローチはほかのエリアと比べて遠いものの、5.12を中心とした項ルートが揃っており、人気のあるエリアである。特に、時間よとまれ(5.12a)、水の泡(5.12c)、美しくカンテ(5.12c)など再登者お評価は非常に高い。シーズンは春秋がベストだが、冬も日が1日あたるので、暖かい日は十分登ることができる。逆に暑い時期は木が生い茂るので、比較的過ごしやすい。真夏登れるかどうかは不明。

アプローチ

- ①用瀬小屋に車を停める
- ②小屋から川沿いの遊歩道を西に10分ほど進む
- ③採石場への道路を右に過ぎ(立ち入り禁止)100mほど進む。  
左に広場のある杉林の所から、右の踏み跡に入る。(わかりづらい)
- ④踏み跡は一瞬沢筋になるが、すぐに斜め右上がる。
- ⑤フィックスロープに導かれ、5-10分ほど急な尾根状を登る
- ⑤登りきると一旦尾根が終わり、右にほぼ水平な、明瞭な踏み跡になる
- ⑥右下に鉱山道路を見ながらガレ場を二つ越えた先から(5分ほど)
- ⑦左に踏み跡は折れて、ここから小沢を10分ほど詰めるとニューエリア到着

